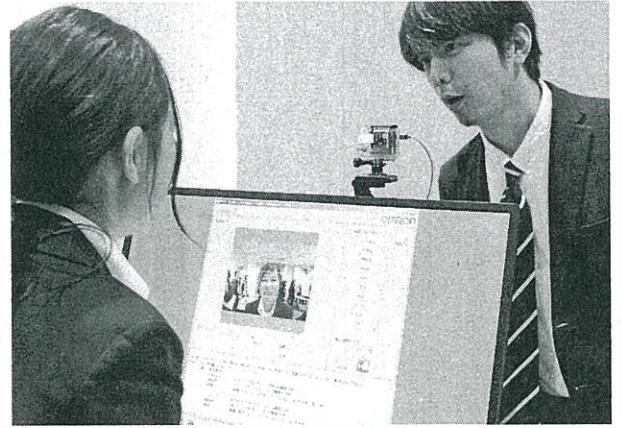


# 就職面接トレーニング NTT西と関大タッグ



## 笑顔や緊張状態を診断

NTT西日本と関西大学は7日、情報通信技術を使った就職面接トレーニングで視線を撮影し、リストバン

表情や脈拍数のデータなどで面接態度を診断するシステム。NTT西日本と関西大が共同で実験する。大阪府北区の関大梅田キャンパス

ド型機器で脈拍を測ることで面接中の態度や緊張状態を知ることができる。NTT西は就職面接のほか、プレゼンテーションの診断などのビジネス展開も狙う。就職面接の評価について研究している同大システム理工学部の小尻智子准教授らに、NTT西がデータ収集や分析のためのシステムを提供。面接トレーニングで心理状態に関わるデータを収集し、好印象を与える笑顔や真剣な表情ができて

いるか、面接官を見て話せているかを診断。脈拍変動からはどういった質問のときに緊張するかが分かり、学生は自らの面接時の状況が把握できるという。

面接トレーニングを受けた商学部3年の草薙舞さん(21)は「診断結果で面接中にだんだん緊張がおさまり、笑顔も出るとわかってよかった」と安心した様子。関西大の芝井敬司学長は「学生が自分の面接態度を知り、就職活動を乗り切ることを期待している」と話す。大学側は、就職シーズンを迎える前の来年2月に、学生向けの就職イベントで面接トレーニングを導入する予定。

# 声・表情から印象分析 → 就活支援

NTT西日本と関西大は7日、人の表情や音声、心拍数などを分析する情報処理技術を使い、学生の就職面接を支援する実証実験を来年2月から始めると発表した。大学での就職面接の訓練や企業に向けたプレゼンテーション方法の助言などでの実用化を目指す。

技術は顔を撮影するカメラや脈拍を測る手首に巻くバンド、音声を文字化するソフトなどを使い、話している人の心理状態に関わるデータを収集する仕組みで、NTT西が中心となり開発した。

## NTT西と関大 来年に実証実験

来年2月に関西大で行う就職活動関連のイベントで実際に活用。得た情報は関西大の研究チームが解析し、目線や手の動き、言葉のよどみなさなどが話し相手の印象に与える影響を調べる。「真剣な表情」や「笑顔」の有無などを学生や面接官役に分らせ、改善に役立ててもらう。

NTT西は今年2月に吉本興業と組み、センサーやカメラで集めた生体データから、観客の笑いの程度を点数で判定するサービスを期間限定で提供するなど、人の感情を数値化する技術の研究を進めている。

# 上手な面接 就活生に助言

「緊張してしまって質問にうまく答えられない」



脈拍数や笑顔などを分析

## NTT西と関西大が実験

NTT西日本と関西大学が、そんな就職活動中の学生をサポートする実証実験を2017年2月から始める。面接を受ける学生の脈拍や態度を分析し、特徴を自覚して改善に役立ててもらう。

腕時計型の端末や設置したビデオカメラで脈拍数や笑顔、発言などを記録する。無線通信を使ってパソコンに情報を集めて心理状態を

## 心理状態や言葉遣い分析

分析し、面接官がプラスに評価した動作を示す。発言からは「えー」といった意味のない間投詞の数を数える。流ちょうに話すことを習慣づけることで落ち着きや堂々とした印象を面接官に与えられる。実証実験は関西大の学生が対象となる。関西大の小尻智子准教授は「緊張状態の自分を知らることが大切」というシステムはNTT西日本が中心となって開発を進める。今後は接客業の研修などへの応用も視野に入れる。